

TICAD VI 連携 アフリカ研究ワークショップ

アフリカ経済研究の現状・課題・展望

—『現代アフリカ経済論』を読む、『現代アフリカ経済論』で読む—

主催 関西大学経済学部 アジア・アフリカ研究グループ (AASG)

後援 サントリー文化財団

協賛 アフリカ開発銀行アジア代表事務所

日時 2016年7月29日(金) 14時～17時30分

場所 関西大学 千里山キャンパス 経商研究棟6階6会議室

TICADVIを眼前に控えておりますが、この機会にアフリカ経済の現状と構造を理解する枠組みをどのようなものとして構築するか考えてみたいと思います。2014年に発刊された『現代アフリカ経済論』につきましては、アフリカ開発銀行アジア代表事務所のご援助の下で、近々、***Contemporary African Economics : A Changing Continent under Globalization*** として英語版が刊行されます。また、本書の英語版は、TICADVIでも関係者に紹介されると伺っております。そこで本書の執筆にかかわった皆様を中心に意見交換の場を企画してみました。経済学は、『諸国民の富の本質と諸原因に関する一考察』として始まりましたが、それ以来、『諸国民の貧』について、あるいは『諸国民の福祉』について、時には『開発』『進歩』『成長』など、いろいろな課題にとりくんできました。今日では、『諸国民の安全保障の本質と諸原因』を考察することも重要な課題になっています。また、『国民経済』を分析単位としてきた経済学は、今ではその単位も方法も著しく変貌してきました。以上のような背景のもとでジャパニーズ・アフリカニスト・ポリティカル・エコノミストとして、これまでの研究史と経験を踏まえて、世界に発信できる『アフリカ経済論』の構築をめざして、忌憚のない意見の交換ができれば、幸甚と存じます。(北川勝彦・高橋基樹)

司会・進行 北川勝彦氏(関西大学)・高橋基樹氏(京都大学)

問題提起とコメント 白戸圭一氏(三井物産戦略研究所) 14時～14時40分

遠藤 衛氏(アフリカ開発銀行アジア代表事務所) 14時40分～15

時20分

全体討論(討論はラウンドテーブル方式) 15時30分～17時30分

討論参加者 福西隆弘氏(アジア経済研究所)・杉本喜美子氏(甲南大学)・正木 響氏(金沢大学)・岡野英之氏(立命館大学)・土屋一樹氏(アジア経済研究所)・岩田拓夫氏(立命

館大学)

終了後 17時30分～19時30分 懇親会（会場の予約のため、出欠のお返事を願います）

連絡先 関西大学 経済学部 北川勝彦 電話 06-6368-0593

E-mail kitagawa@kansai-u.ac.jp